



2023年

2月 第3・4週の 主日礼拝説教要約

・ 2月19日：ヨハネ福音書 3：22 - 30 .

『 人から神へ 』

・ 2月26日：マタイ福音書 4：1 - 11 .

『 人となりし神 』

衣笠病院教会 牧師 宮原晃一郎

ラビ（先生）、ヨルダン川の向こう側であなたと一緒にいた人、あなたが証されたあの方が、洗礼を授けています。皆があの方の方へ行っています。（ヨハネ福音書 3：26）

ユダヤの民衆は、ヨルダン川で洗礼を授けるのはヨハネの独占的な行為であると信じていたにもかかわらず、後から同じことがイエスの許でも行われるようになったことに気付き、ある人たちがヨハネの弟子たちを介して、ヨハネ本人にイエスの（越権？）行為の是非を問うたのです。

その時のヨハネの答えは、

私はメシアではなく、あの方の前に遣わされたものだ。…あの方は必ず栄え、私は衰える。（同 3：28 - 30）

というものでした。この原文の意味は「栄枯盛衰」ではなく「拡大と縮小」です。イエスは時空を超えて拡大し続けるのだけれども、自分（ヨハネ）は縮小の一途をたどるのであり、これは神の一存なのだ。人間の限界まで自分は働いたのだから、このあとは限界を超えて働かれる存在に委ねる時が来たのだと。

残念なことにヨハネにはイエスの行く末は示されません。シメオンやアンナのような悟り（ルカ福音書 2：25 - 38）も与えられません。ただ、神の裁きの時（世の終わり）に備えるために、人々に「悔い改めよ」と呼ばわって洗礼を授けることが、神から委ねられた任務でした。

使徒言行録 18章 24節以下に出てくるアレキサンドリアのアポロは、洗礼者ヨハネの弟子であったことが記されています。さらに第一コリント書の 3章 5節以下を読むと、「私（パウロ）が植えて、アポロが水を注ぎ、神が育てた…私たちは神の協力者（同労者）」と記されています。面識のなかったパウロとアポロが結果的に協力関係を結ぶまでに、これといった軋轢が生じていなかったのだとすると、少なくともこの二人は、世の終りに関して、互いに異存を唱えることなく受け入れていたことがわかります。洗礼者ヨハネと使徒パウロは、こちらもお互いに、面識はなかったものの、イエスや直弟子たちの頭越しに、世の終りが間近に迫っているという性急

な終末論を信じていたのです。さらに両者とも、世の終りの兆候も何もない段階で、本人たちが先に召されています。イエスの直弟子ではなかった彼らは、「その時」が神のみぞ知る「時」であり、「あなたがたの知るところではない（使徒言行録1：7）」という教えを受けておらず、自分たちこそが、世の終りに位置しているという強い信念（誤解？）を持ち合わせていたのです。しかし、それは彼らの信じていた彼らの「時」であり、イエスが語った「神の時」はまだ到来していないのです。

《 人となりし神 》

彼らは重ねて罪を犯し、砂漠でいと高き方（神）に反抗した。心のうちに神を試み、欲望のままに食べ物を得ようとし、神に対してつぶやいて言った。「荒れ野で食卓を整えることが、神にできるのだろうか。神が岩を打てば水がほとばしり出て、川となり、溢れ、流れ出るが、民にパンを与えることができるだろうか、肉を用意することができるだろうか」。

本日の交読詩編78篇の17節以下の言葉です。イスラエルの出エジプトの際に、彼らが荒れ野で神を試みた時のことです。驚くべきこととして、その昔の彼らの発想と、今日の聖書の場面の、悪魔が荒れ野でイエスを誘惑する時の言動が酷似していることがわかります。いったい、どちらがどちらに似たのでしょうか。

イエスは洗礼者ヨハネから洗礼（バプテスマ）を受けた後、荒れ野へと赴きます。最古のマルコ福音書によると、イエスは霊によってそこへと押し出され（無理強い？）そこで40日間、野獣と共に過ごすことになったと記されています。さらにその間断食をして、神の子が人となりし苦痛を味わうこととなります。どうして神の子に「荒行」が必要なのか、なぜ、そこまでご自身を追い詰めるのか、実に不可解な出来事ではあります。

荒れ野でかつてイスラエルが主なる神を試みても、神は神であるが故にその通りに応じることはありません。ところで、人となりし神キリストは神を試みた古のイスラエルと同様に空腹を覚えられます。ご自身が「命のパン（ヨハネ福音書6：35）」でもあるお方なのに。ここでは明らかに、

読者の想像を超える何かが起こりつつあるのです。

後に、十字架上で苦しまれる神キリストのそばにも、やはり悪が忍び寄ります、「もし、お前が神の子なら、自分を救って十字架から降りてこい」と。「人となりし神」とは、全ての苦しみを、同じ人の苦しみとして受けとめる神だったのです。

今日の場面は、イエスの3年足らずの公生涯の始まりの時期に位置しています。人間イエスに物欲が備わっているのか否かを見極める悪魔の悪質で危険な誘惑（実験？）に、もうこれ以上さらされる必要はありません。

イエスは彼に命じました。「退け！ サタン…」。その時、サタンは追放され、代わりに天使たちがイエスの許に集まって来て、イエスに仕えることとなりました。